



湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活 (れいわしょうかつ)』

湯梨浜町立湯梨浜中学校
校長 梅津 寿文
令和2年7月16日

【思いを爆発させて、最高の思い出に！】

いよいよ中部地区総体が今週末の開催となり、各部の対戦相手や会場は先日配布されたご案内のとおり、中部の各地で熱戦が繰り広げられます。選手・役員、これまでさまざまな立場で精一杯準備を進めてきました。当日は、過去に例のない「感染症・熱中症」を相手に大会運営の関係者も大変厳しい闘いをするようになります。今年の大会においては「特に勝敗にこだわらず、3年生の花道を」ということで開催されますが、参加する以上は最高のパフォーマンスをして納得のいく結果を残してきてほしいと思います。3年生の皆さんにおいては、「一度閉ざされた路が再開された」ことに感謝し、スポーツが思いっきりできる喜びを爆発させて、その醍醐味を存分に味わっててください。

今まで全校の激励会で話してきたことは、『勝つことだけを目標にしてきたチームや選手にとっては負けた時点で「何も残らなかった」と感じたり、敗因を他の人や物のせいにするところもあるでしょう。ところが、「+α」をきちんと身につけてきた選手たちは、結果はどうあれ「礼儀やマナーがよい・挨拶がすばらしい・大きな声でプレーや応援ができる・チームの雰囲気がとても温かい」等々、これからの長い人生の中で、社会生活や人間関係を良好にしていくための大切な力が身につけている』ということです。早速、高校でともに生活したり、チームメートになる仲間とこの大会で出会うこともあると思います。対戦相手を尊重してお互いに全力を出し合い、粘り強く最後まで競技に打ち込んで、中学時代の最高の思い出をたくさんつくっててください。



【あいさつの意義】

先週の2年生の学級通信の中に、道徳の授業で「あいさつや礼儀の意義」について考えたとの記事がありました。その中に「あいさつは親しい人同士がすればいいのではないか」という意見と「あいさつは習慣なのだから理屈抜きでやることではないか」というような意見があり、班やペアで意見を交換して、それぞれの考えが深まったということでした。授業の感想は次のとおりです。・「あいさつに得はあるけど損はない」というのは正しいと思う。今はあいさつレベルが3だけど4・5に上げていきたい。・相手のためにも自分のためにもあいさつは大切、勇気のいることだけど前よりしようと思った。・あいさつは人を笑顔にしたり、全く知らない人でも仲良くなれる。・あまり親しくない人にもあいさつすることで、親しくなれるきっかけをつくることできると考えるようになった。・「たった一言」で周りの人も自分も明るい気持ちになれることから、これからも積極的にして広めていける側になりたい。

最近、朝の挨拶で手を振ってくれる生徒たちも増えてきて、とても快い一日のよいスタートができています。学校全体が一段と明るくなって、「あいさつを大切にする雰囲気」を生徒たち自身で取り組む学校づくりが、着実に少しずつ進んでいるところです。

【感染症対策の取り組み】

1学期も残り1週間となり、この4ヶ月間も先生方が校舎内の感染症対策を毎日しっかりと取り組んでくださっています。広い校舎内を二人一組で消毒薬をスプレーする人・拭き上げる人、窓や手すり・トイレ等々のあちこちを入念に消毒をしてくださっています。暑い中、広い校舎内で黙々と作業してくださっている姿には本当に頭が下がります。こうして、学校だけでなく各ご家庭や職場等でもさまざまな対応を取られていることと思います。「当たり前」ではなく、感謝しながら日々の生活でも気をつけて生活していきたいと思ひます。



《最近のお昼の音楽》

- ・守ってあげたい、ひこうき雲 (荒井・松任谷由実)
- ・イエスタデーワンスモア、シング (カーペンターズ)
- ・まちぶせ (石川ひとみ)
- ・涙そうそう (ピギン)
- ・ティアーズインヘブン、ワンダフルトゥナイト (エリッククラプトン)
- ・M (プリンセスプリンセス)